

第32回 全日本少年サッカー大会 埼玉県大会組み合わせ

	第1日(6月7日)		第2日(6月14日)
1	(南) 第2 ① 10時		
2	(西) 第2 ⑤ 14時		
3	(東) 第3 ① 10時		
4	(北) 第2 ① 10時		
5	(南) 第2 ② 11時		
6	(東) 第3 ⑤ 14時		
7	(西) 第3 ② 11時		
8	(南) 第2 ② 13時		
9	(東) 第2 ③ 12時		
10	(南) 第2 ⑥ 15時		
11	(西) 第3 ③ 12時		
12	(南) 第3 ① 10時		
13	(南) 第2 ④ 13時		
14	(北) 第3 ⑥ 15時		
15	(西) 第3 ④ 13時		
16	(東)		

第32回全日本少年サッカー大会 埼玉県大会 実施要項

- 1 目的 少年たちがサッカーを通じて身体を鍛え、フェアプレーの精神を養い、正しく強くそして創造力豊かな人間の育成を目指す。
- 2 主催 財団法人日本サッカー協会 財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団 読売新聞社
- 3 主管 財団法人埼玉県サッカー協会 第4種委員会
- 4 後援 日本テレビ放送網 報知新聞社
- 5 特別協賛 三国コカ・コーラボトリング YKKグループ 花王
- 6 協賛 オリンパスイメージング 日清オイリオグループ ゼビオ 四谷大塚
- 7 協力 モルテン
- 8 期日会場 6月 7日(土) 1・2回戦 埼玉スタジアム第2・3グラウンド
6月14日(土) 準決勝 埼玉スタジアム第2・3グラウンド
決勝 埼玉スタジアム第2グラウンド
- 9 参加資格 (1) 2008年度財団法人日本サッカー協会第4種又は女子(小学生)登録済で、年間を通じて継続的に活動しているチームであり、地区予選を勝ち抜いたチームであること
(2) 単一チームに限られ、選抜チーム(複数チームの所属選手で構成し、本大会への参加のみを目的とし、大会終了後選手が他の所属チームに移籍し活動するチーム)の参加は不可とする。
(3) 前(1)のチームに所属する選手であり、財団法人日本サッカー協会発行の選手証を有し、スポーツ傷害保険に加入済であること
(4) 第32回全日本少年サッカー大会参加申込書提出後の選手変更は認めない。
- 10 競技方法 (1) トーナメント方式とする。
(2) 試合時間は40分とし、勝敗の決しない時は10分間の延長戦を1回行い、なお決しない場合はPK方式による。
(3) 三位決定戦は行わない。
- 11 競技規則 財団法人日本サッカー協会競技規則2007/2008
- 12 選手交代 登録選手(20名以内)の範囲内で自由な交代を認める。
- 13 使用球 公認4号縫いボールとし、大会本部で用意する。
- 14 服装 登録されたユニフォームを着用する。ポイント取替式のスパイクの使用は認めない。
- 15 代表権 第一位を全日本大会へ、第二位と第三位の計3チームを関東大会に埼玉県代表として推薦する。
※関東大会の代表順位…第二位を第1代表、第一位のチームに負けた第三位のチームを第2代表、第二位のチームに負けた第三位のチームを第3代表とする。
- 16 表彰 第一位=賞状・カップ・代表証・協賛社副賞
第二位=賞状・カップ
第三位(2チーム)=賞状・特別協賛社賞
1回戦を勝ち進んだチームの中から1チーム=特別協賛社賞
- 17 閉会式 (1) 6月14日(土) 14:00 埼玉スタジアム第2グラウンド
(2) 準決勝出場チーム及び別に示すチームが参加すること

確認事項

- 1、メンバー表の提出、選手証及びユニフォームの確認について
 - (1) 試合開始時刻40分前までにメンバー表を本部に提出するとともに、メンバー表に記載した全選手の選手証を提示しメンバー表との照合・確認を受ける。
 - (2) メンバー表は、指定の用紙に必要事項をすべて記入し、試合ごとに1部提出する。
 - (3) 試合開始40分前に、正副2組のユニフォームを持参して審判員によるチェックを受ける。
(対戦相手と類似色の場合は、話し合い又は主審のトスにより決定する。)
 - (4) 交代要員を含む全選手と選手証・メンバー表との照合及び用具等の確認を試合開始10分前から受ける。
- 2、選手交代について
 - (1) 交代カードに必要事項をすべて記入し第4の審判員に提出する。
 - (2) 主審の承認を得て指定された場所から行うこと
- 3、ベンチについて
 - (1) ベンチに入れる者は、登録選手20名以内と、登録された監督・コーチ5名以内とする。
 - (2) チームベンチは競技のフィールドに向かって左側をトーナメント表の若い番号のチームとし、対戦相手が右側とする。
 - (3) ベンチからの指示等は、指導者としてふさわしい言動で臨むこと
(戦術的指示を伝えることができるのは、テクニカルエリア内でその都度1名とする。)
 - (4) 退席を命じられた指導者は、次の1試合はベンチに入ることはできない。
 - (5) ベンチでの携帯電話の使用は禁止する。
- 4、飲水タイムについて
必要に応じて設ける。(競技場内での飲水は『水』のみとする。)
- 5、審判について
すべての試合を第4種少年連盟及びクラブU12連盟審判委員会からの派遣審判員が行う。
- 6、その他
 - (1) チームの代表者は、自チームの試合開始時刻1時間前までに受付を済ませること
 - (2) 退場を命じられた選手は、次の1試合は出場できない。警告を累積2回受けた選手も同様とする。
 - (3) 試合中のグラウンド外でのアップは指定された場所で行うこと　ハーフタイム中のグラウンド内での練習は不可とし、試合前のグラウンド内での練習は指示に従うこと
 - (4) チームの責任者は、帰る時も必ず本部に報告すること
 - (5) 指定された場所以外での喫煙は禁止する。
 - (6) 弁当容器・ペットボトル・空き缶等のゴミは、すべてチームの責任で持ち帰ること
・ ゴミ袋の準備の有無を本部で確認する。(現物を提示すること)
- 7、要項・確認事項の各条項が守られない場合又は大会運営に対し不適切な行為等があった場合は、本大会の規律・フェアプレー委員会において審議する。(JFA規律規定による。)

☆ 以上のことについて、参加される保護者関係者に周知徹底してください。

